



紙パックリサイクル全国20事例集の作成進行中

現在、全国牛乳容器環境協議会と協働で紙パックリサイクル全国 20 事例集第 4 集の発行に向け、さまざまな地域の先駆的事例をピックアップして、ヒアリング及び編集作業を進めております。好評であった 2010 年発行の第 3 集を改訂し、今回はそのうちの半数について、新しい事例を掲載することとしました。

事例先のいずれもヒアリングに快く協力をいただき、心温まる話を聞くこともしばしばで、事例集作りを機に新たなつながりを持つことができました。

20事例の紹介先は以下の通りです

- ・自治体—さいたま市、仙台市、相模原市、旭川市
- ・量販店—ユニ(株)、(株)万代
(株)セイコーマート
- ・団体—大崎ウエストシティタワーズ自治会、
東大阪市集団回収、NPO 法人碧い琵琶湖
- ・福祉施設—(社福)桃花塾、(社福)路交館桜の園
(社福)夢工房福祉会
- ・回収事業者—(株)古紙畑、本田春荘商店(株)、
(株)山田洋治商店
- ・学校—横浜市立浦島丘中学校、
川口市立戸塚南小学校
- ・受入メーカー—丸富製紙(株)、(株)日誠産業
(太字は新規事例先)

新規事例先として挙げさせていただいたそれぞれの選択理由ですが、まずさいたま市は、都市部において牛乳パックの分別排出を徹底させるのが難しいといわれる中、行政回収として最も回収量の多い自治体であることです。仙台市は、東北地域の唯一政令指定都市で、同じく牛乳パックの行政回収を行っています。

ユニ(株)は環境への取り組みのトップランナーとして店頭回収以外に、子どもたちへの環境学習活動へも熱心に取り組んでいて、牛乳パック再利用の手すきはがき実演を導入しています。(株)万代は、1992年に紙パック回収に取り組む際、地域の福祉作業所の支援につながるシステムを築き、さらに会社内においても

牛乳パック再生品を積極的に利用されています。

大崎ウエストシティタワーズ自治会は、39階建て2棟に住居する約1000世帯で構成されていて、今年6月から各階に牛乳パックの専用回収ボックスを設置していただきました。東大阪市集団回収は、446団体中約30団体が紙パック回収に取り組んでいますが、集団回収として全国的にも高い量となっています。

(社福)桃花塾は関西で最も古い知的障がい者施設で、通所部開設の際さまざまなリサイクル活動の一環で紙パックの回収および再生品作りに取り組みました。

(社福)路交館桜の園は、前身のにしき集いの家作業所の頃から20年近く紙パック再生品利用店頭キャンペーン活動を行っています。

(株)古紙畑は、誰もがいつでも古紙を出せるステーション設置を進める中、牛乳パックも品目に入れています。本田春荘商店(株)は、広島市内の学校給食用牛乳パックを積極的に受け入れるとともに、学校を定期的に回収してまわる牛乳パックリサイクルネットワークを築きました。

横浜市立浦島丘中学校は、月に1回資源回収の日を設け、年間に回収した牛乳パックの売却金をアフリカの砂漠化防止活動を行っているNPO法人に寄付をしていて、その取り組みは26年続いています。

パルプメーカーの日誠産業(株)は、牛乳パックのパルプを使ったレーヨン繊維の開発や、広島の折鶴と牛乳パックを再生したノート作りに取り組んでいます。

“20 事例集早だし情報！”

牛乳パックリサイクルの多様性を垣間見ることが出来る事例集の発行は、来年1月下旬頃の発行予定です。すでに大半のヒアリングを済ませています。せっかくですので、情報のホットなうちに一部ご紹介させていただきます。

大崎ウェストシティタワーズ自治会

大崎ウェストシティタワーズは大崎駅周辺開発により整備された地域に建設された、39階建て超高層ツインタワーマンションです。自治会の役員の中に、品川区のごみ減量推進委員を務めている方がいたことから、自治会として資源化を進めようと、古紙、缶、ペットなどのリサイクルに取り組んでいました。牛乳パックも良質な古紙原料であることを知って、昨年11月に、容環協の提供している牛乳パック回収ボックスを試験的に5個設置しました。マンション内の住民が協力的であったことから、今年6月に各階のごみ置き場スペースに、回収ボックスを設置したいと、75個の申し込みをいただいた経緯があり、事例掲載のご協力をお願いしました。



1階のコンシェルジュが待機しているロビーにてヒアリングさせていただいた後、2階部分と地下のごみ及び資源集積場を見学致しました。いずれもごみの悪臭など全くなく、衛生的に管理されている部屋に回収ボックスは置かれ、しっかりと活用されていました。自治会長さんは、「建物の様々なところに環境へ配慮したシステムも導入しています。」とマンション内外の先進設備についてご案内下さいました。ドイツ製ソーラー及び蓄電システムの街路灯、雨水を吸収しやすい素焼きの壁面タイル、タイヤをリサイクルした素材が敷かれた広場、エントランスのガラス窓には定期的にシャワーを流し温度の上昇を妨げる等いずれも目を見張るシステムが導入されていました。

ドイツ製のソーラー街路灯

横浜市立浦島丘中学校

浦島丘中学校は、生徒会活動の一環でアルミ缶と牛乳パックの資源回収で得た収益金を、アフリカのサヘル地方の植林活動を行っている NPO に寄付するという取り組みを、長年継続しています。4月に生徒会主催で新入生向けのオリエンテーションを行ったり、生徒・保護者・地域にプリントを配布したりして協力を求めています。毎月16日の回収日は、昼休みに各クラスから牛乳パック、アルミ缶が持ち寄せられ計量します。翌日にはランキングされた回収結果を全国生徒に配布したり、クラス毎の計量結果をグラフにして昇降口に掲示したり、さらに例年2月に、牛乳パックの回収を行っている NPO 法人サヘルの森の関係者を招いて、「資源回収収益金委託式」を行うなど、協力を得るためのいろいろな工夫を行っています。何より、生徒も担当教諭も代替わりする中、この活動が脈々と引き継がれていることが、大変貴重な事例だと思いました。



クラスごとに計量。地域の方からも多くのパックが持ち込まれた

社会福祉法人桃花塾

1916年(大正5年)創立、国木田独歩も支援していたという歴史のある知的障がい者施設です。牛乳パックの回収は2003年に通所部の開設に伴い、リサイクル事業に取り組んだことを機に開始したとのこと。また、回収対象外のアルミ付き紙パックも回収して、はがき、名刺、カレンダーなどの手すき製品の原料にしています。牛乳パックリサイクルは、それぞれ障害を持つ方に応じた作業工程を組むことができるので、メンバー皆さんが自分たちの仕事であることを意識して、まじめに作業している姿が印象的でした。



登録有形文化財となっている本館の教室棟

各地で牛乳パックリサイクル講習会を実施

今年度の牛乳パックリサイクル講習会は、4 か所の自治体から申し込みをいただき、そのうち3 か所については、夏休み中の環境学習の場として利用いただきました。

相模原市リサイクル講習会

相模原市では、7月31日に橋本台リサイクルスクエアにて、親子学習会企画として実施しました。相模原市は先にご紹介した20事例集への掲載をきっかけに、窓口である循環社会推進課を通じて、いろいろな場面でご協力いただいています。この講習会の開催においても、課長様はじめ職員の方が多数参加くださっています。4回目を迎える今年は定員枠を超えるほどの参加申し込みをいただき、毎年恒例の夏休みリサイクル学習会としてすっかり定着したようです。

日常的に、相模原市循環社会推進課としても、ごみの減量やリサイクル促進の啓発をされているので、50名程の参加者みなさんが、牛乳パックのいろいろな話に、熱心に耳を傾けていました。



西東京市リサイクル講習会

今回で6回目となるエコプラザ西東京での講習会は、8月5日に実施しました。

エコプラザ西東京からは「毎年、夏休みの人気講座となっています」と大変好評をいただいている、今年も多数のキャンセル待ちがあったということです。参加された子どもさんたちの中にもリピーターが数名いて、「去年来た時におもしろかったから、また来たよ」と、この講習会開催を楽しみにしていたようです。

付き添いで保護者の方も多数参加され、紙漉き実演では子どもたちの体験が終わった後に、はがき作りにチャレンジする親御さんたちもいました。



「牛乳を飲んで、手開き体験」では牛乳大好き！とごくごく飲む子どもが多い。



富士見市リサイクル講習会

富士見市でのリサイクル講習会は、今回が初めて。地域の大学や市町村、企業、NPO、県が連携して、子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供する「子ども大学ふじみ」の学習プログラムの1科目という位置づけで実施しました。

小学生4～6年生60名と、子どもたちのサポートを行う地元学生も含めたボランティア十数名と、こちらのスタッフを合わせ、総勢80名以上の規模の講習会となりました。

子ども大学ふじみの窓口である富士見市教育委員会の方から、事前に牛乳パック6枚持参すると、トイレットロール1個と交換する旨をアナウンスしていただいたので、子どもさん全員から協力が得られて、回収ボックスはいっぱいとなりました。



手すきはがき作りの実演は、子どもたちもさることながらサポーターの方の関心も高かったです。



ララガーデン長町（仙台市）にて、紙パックリサイクルキャンペーンを開催

夏休みが始まったばかりの7月26日～27日の2日間にわたって、容環協さんとの連携事業である紙パックリサイクルキャンペーンを「ララガーデン長町」にて実施しました。今年は1Fの入り口に近いものの、うなぎの寝床のような細長いスペースの中に、固定された花壇や椅子があるという会場で、レイアウトに非常に苦慮しましたが、展示やクイズコーナー、ティッシュ交換コーナー、紙漉き体験に、牛乳を飲んで手開き体験と、盛り沢山の内容のキャンペーンとなりました。毎度のことながらはがき作りが一番人気で、1日目が152人、2日目は190人の方が体験されました。中には初日に来て楽しかったので、また来ましたというご家族もいらっしゃいました。



事務局日誌（2014年4月～8月）

- | | |
|-------------------------|-----------------------------|
| 4/23 全国牛乳容器環境協議会総会 | 7/25 仙台市ヒアリング |
| 5/17 日本テレビニュース every 取材 | 7/26～27 ララガーデン長町リサイクルキャンペーン |
| 5/25 林家ライス・カレー子環境寄席 | 7/31 相模原市リサイクル講習会 |
| 6/ 2 パックマーク促進協総会 | 8/ 5 西東京市リサイクル講習会 |
| 6/11 20事例集打ち合わせ | 8/ 6 榊古紙畑ヒアリング |
| 6/19 古紙再生促進センター評議会 | 8/ 7 路交館、桃花塾ヒアリング |
| 7/ 2 富士見市講習会会場下見 | 8/11 白百合女子大生紙漉きレクチャー |
| 7/ 4 大崎ウェストシティワズヒアリング | 8/21 富士見市リサイクル講習会 |
| ニュース every 放映 | 8/27 全国パック連評議会 |
| 7/ 9 さいたま市ヒアリング | 8/29 紙パックリサイクル促進地域会議（松戸市） |
| 7/16 横浜市立浦島丘中学校ヒアリング | |

平素より、全国パック連の活動へのご理解ご支援をいただき、誠にありがとうございます。手作りで地道に発行してきたパック連通信も、おかげさまで今回で100号となりました。来年はいよいよ発足から30周年を迎えることとなり、記念集会を2015年10月15日(木)に行う予定でありますので、日程を押さえておいていただけましたら幸いです。

◎牛乳パックリサイクル・牛乳パック再利用マークについてのお問い合わせは

全国牛乳パックの再利用を考える連絡会 / 牛乳パック再利用マーク普及促進協議会

TEL.03-3360-1098

FAX03-3360-7090

E-mail info@packren.org

ホームページ <http://www.packren.org>

〒164-0003 東京都中野区東中野 4-6-7-201

【牛乳パック110番】フリーダイヤル0120-89-4704 月～金曜 11:00～16:00